

ウランバートル宣言（骨子）

「ASEMの次の10年に向けて」

2016年7月15－16日、モンゴル・ウランバートル

1 パートナーシップの強化

- 非公式な政治対話、経済、社会・文化における協力は、ASEMのパートナーシップの基礎であり続ける。ASEMは、効果的な多国間主義及びルールに基づく国際秩序の触媒としての役割を強化する。
- ASEMパートナーシップの3本柱の全てを均衡ある形で進めていくと共に、アジア・欧州間の多面的かつ人間中心のパートナーシップを強化する。

2 具体的利益のための協力

- ASEM参加国の共通の関心分野（テロ及び暴力的過激主義への対応、海洋の安全保障、海賊対策及び人身売買・薬物取引、サイバー安全・犯罪、ICT技術の安全とその使用時における安全、国連憲章の目的と原則の擁護、法の支配と国際法の執行、持続可能な開発のための2030アジェンダ、気候変動等）に焦点を当てる。

3 連結性の強化

- 連結性を、あらゆるASEM関連の協力枠組みにおいて主流化する。
- ASEMは、平和、安定、経済的繁栄及び持続可能で包括的な開発のためのアジア・欧州間の一層の結びつきを生み出すためのプラットフォームを提供する。

4 非公式性、ネットワーキング、柔軟性の促進

- ASEMにおける非公式性、ネットワーキング及び柔軟性を促進する重要性を強調する。
- ASEMプロセスにおいて、全てのステークホルダーの役割を評価すると共に、ASEMの活動により深く関与していく必要性を強調する。

5 これからの10年に向けて

- ASEM20周年の節目に、ASEMを活性化させ、連結性、パートナーシップ及び協力を強化するため等と共に取り組んでいくという政治的意思及び強い決意を新たにする。